

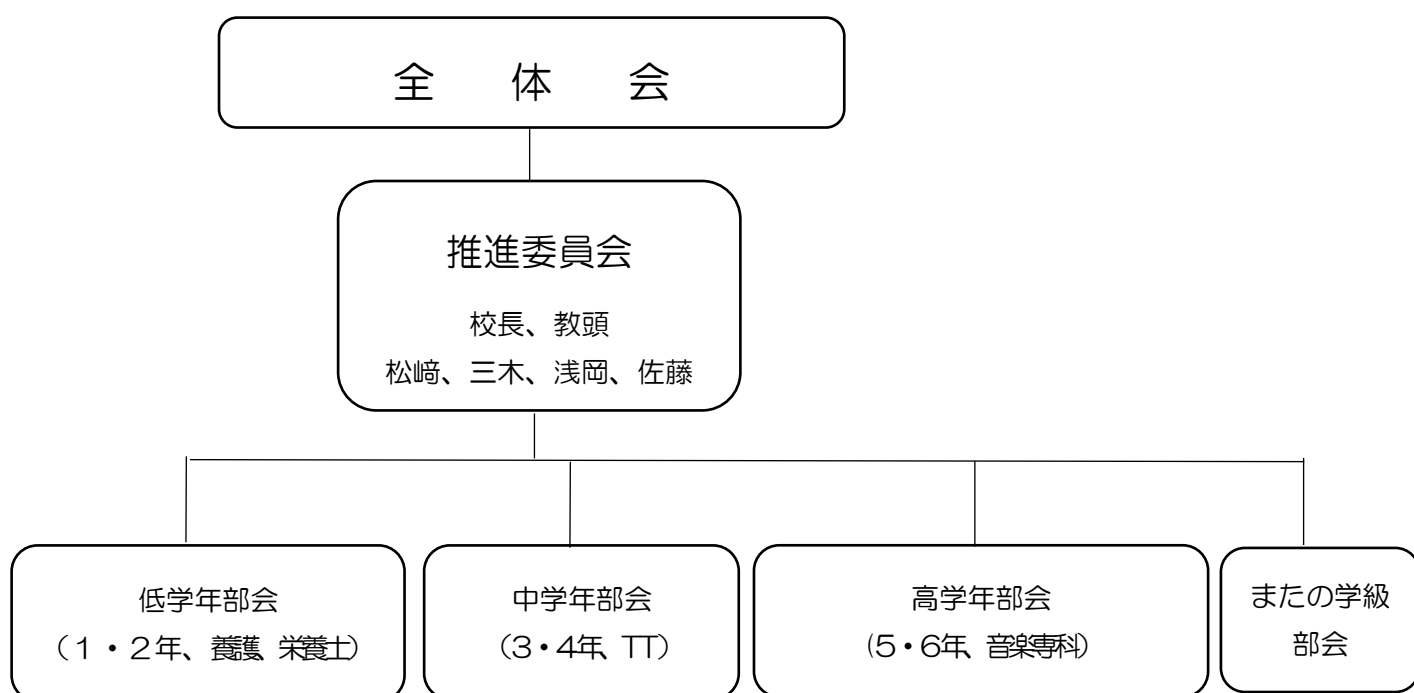
研究テーマ 「進んでやる気の俣野っ子」

～豊かなかかわりを築くための授業実践～

○研究テーマ設定の理由

本校では、豊かなかかわりを築いていくことが子どもたちの前向きな気持ち（やる気）につながっていくと考え、同じ研究テーマで校内研究を続けている。昨年度は「特別の教科 道徳」の授業を通して子どもたちの気持ちの掘り起こしを進めていったことで、子どもたちが他者の考えを知り、多面的・多角的に考えるきっかけとなることにつながった。今年度も引き続き道徳科の授業実践をしていくことで、これまでの研究内容を生かし、さらに充実した授業研究を進めていく。

○研究組織



\* 推進委員会の役割・・・各部と連絡、活動全体についての原案作成、検討、提案

## ○研究の進め方

低・中・高・またの級部会に分かれ、それぞれが児童の実態から「めざす子ども像」を設定し、授業作りを進めていく。部会内で全員が研究授業を行うことで、子どもたちの実態・変容の共有と、指導方法の幅を増やしていく。また各部会から、1人の柱の授業者が全体発表を行い、協議会をすることで、学校全体で、子どもたちの変容を捉えていけるようにする。

## ○研究の内容（部会、全体会）

- |     |   |
|-----|---|
| 部 会 | 低学年・中学年・高学年・またの学級の4つの部会に分かれ、研究する。<br>(教材開発・指導案検討・授業実践・研究協議) |
| 全体会 | 研究テーマの確認・研究の進め方を話し合う。<br>各部の研究の成果の発表・まとめ・反省を行う。             |

## ○研究の重点

豊かなかかわりを築き、めざす子ども像に迫るために、道徳の授業でどのようなアプローチができるのかを研究する。(発問・対話・話型・学習形態・視覚教材の活用・表現方法の工夫・振り返りの時間・他教科とのかかわり 等)

1人1授業の発表、柱の授業の全体発表を行い、子どもたちの変容を見取っていく。

☆低学年部会「自分の考えを持ったり、友だちの考えを知ろうとしたりする子」

- ・物事に対する自分の考えをもつ。
- ・他者の考えを聞く

☆中学年部会「様々な人の考えを認め、自分の考えを広げることができる子」

- ・物事に対する考え方はたくさんあることを知り、受け止められる。
- ・多様な考えを認めた上で、自分で判断できる。

☆高学年部会「多様な価値観を理解し、自己の考えを深め、見つめなおす子」

- ・相手の思いを受け入れる。
- ・自分の思いを行動につなげていこうとする。

☆またの級部会「自分なりの表現方法で気持ちを伝える」

- ・自分の気持ちを言葉やカードなどで相手に伝える。
- ・相手の話を聞く。相手の気持ちを知る。